

令和2年 湖西市議会6月定例会

市長あいさつ

令和2年6月2日

皆様、おはようございます。

本日から令和2年6月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

ここ数か月間は、新型コロナウイルスという未知の領域との闘いが、毎日続いています。感染拡大防止のため、日々奮闘いただいている医療・福祉関係者、その他市民生活を支えてくださっているすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

(新型コロナウイルス対策等)

先月、5月14日には静岡県・愛知県をはじめ39県の緊急事態宣言が解除され、25日には首都圏など、全国的に解除となりました。3月から長い間休校となっていた学校なども再開され、給食も始まるなど、少しずつ日常に戻っているのかなと感じています。また、日に日に暑さが増し、マスクをつけると息苦しいとの声も聞きますが、皆様方のご尽力によりまして、湖西市においては、今年の3月末までに小・中学校、幼稚園へのエアコン設置が完了しております。夏休み期間は短縮となりますが、子どもたちに安全・安心、そして、これまでより快適な教育環境を提供できるものと考えております。

さて、本来であれば、今月の24日には東京オリンピックの静岡県聖火リレーが新居関所前をスタートし、7月にはスペイン卓球代表チームの事前合宿が行われる予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオリンピック・パラリンピックの開催延期が決定したほか、初めて日本国内で開催される予定であった浜名湖キューバ・ヘミングウェイカップも同様に1年延期となってしまいました。市民の皆様、また、私自身も初めてであり、とても楽しみにしておりましたが、来年無事に開催できることを期待して、引き続き準備を行っていきたいと考えています。その他にも「おいでん祭」や「敬老会」、文化・芸能など、多くのイベントが中止または延期となりました。大変残念ではありますが、「3密」を避けるなど新たな生活様式のもと、可能なものから、または新たなやり方を考えるなどして、順次再開できたらと思います。

この新型コロナウイルスに関する湖西市への影響については、本日（6月2日）現在、市内での感染は確認されておられません。しかしながら、全国各地において、クラスター感染の発生や第2波への懸念、警戒が相次い

でいます。気を緩めることなく「with コロナ、アフターコロナ」といったウイルスとの共存を前提に、感染拡大防止を図ってまいります。

他方で、市内事業者の経済活動に与えている影響は、大きなものがあります。基幹産業である製造業をはじめ、飲食・サービス業、農水産業などほぼすべての産業において、売上げや受注が減少し、その影響は当面続くことが見込まれ、リーマンショック当時の例からは数年続くところのご指摘もあります。企業等の業績は、湖西市の市税収入にも直結することから、大変厳しい財政運営を迫られることとなりますが、国の臨時交付金等も活用しながら、新型コロナウイルス対策、更には「職住近接」を進めるため各分野の市民サービスの充実・確保に、全力を尽くしてまいります。

そのうち、新型コロナウイルスに関する支援策としては、4月21日に、静岡県の経済変動対策貸付との連動により、市内中小事業者への利子補給制度を創設し、実質の利子負担をゼロとしたほか、今回の補正予算で提案させていただくものを含め、

- ・新型コロナウイルス感染症対策協力金（協力金）
- ・小規模企業者エール給付金（エール給付金）
- ・感染拡大防止サポート補助金（サポート補助金）
- ・小規模企業者お悩み相談バックアップ補助金（バックアップ補助金）

といった各種の支援策により、各産業への支援の穴がないよう、事業の継続や活気ある社会経済活動の再開のため、迅速かつ着実に実施してまいりたいと考えております。

なお、協力金については、特定警戒都道府県に位置づけられておりました愛知県と隣接し、お互いの生活圏として往来の多い本市においては、迅速な対応が必要であったことから、愛知県及び愛知県内市町村と相談しながら足並みを合わせ、静岡県及び県内の周辺他市町に先がけて対応をさせていただきました。6月1日現在、237件の申請をいただいております、引き続き迅速な給付のため、手続きを行ってまいります。またその他の、本日も提案させていただくエール給付金・サポート補助金・バックアップ補助金など、事業者の皆様の要望に沿った、市独自の施策に力を入れてまいります。

更にはこれ以外にも、地震や台風など災害発生時における、避難所等の感染拡大防止策や、緊急事態宣言解除後の地域経済活性化に向けた消費喚起策、先ほど申し上げた製造業をはじめ、特に中小事業者への固定費負担

の軽減など追加支援策につき、商工会はじめ関係機関の皆様と協議を重ねており、整い次第、ご提案させていただきたいと考えております。

また、すべての国民に一律 10 万円が給付される特別定額給付金につきましては、5 月中に申請書を各世帯にお届けさせていただきました。既に多くの申請を受け、応援職員も動員しながら臨時の窓口なども設置させていただいており、一刻も早く市民の皆様にご給付できるよう、迅速かつ適正な事務処理に努めてまいります。

先ほども申しましたように、少しずつ湖西市の日常が戻ってきている感はあるものの、まだまだ本来の元気な湖西市には戻っておりません。今後も、国や県、商工会はじめ関係機関と連携を密にし、活気ある社会経済活動を取り戻していきたいと思っております。

（新規事業）

新型コロナ対策が優先されてはおりますが、他の行政サービスも停滞させるわけにはいきません。令和 2 年度の新規事業もスタートしております。今年も湖西市のキーワードは、持続可能な発展のため、人口減少対策としての「職住近接」、昼夜間人口の差の解消です。

企業との連携による奨学金返還支援「わーくわく湖西で新生活」におきましては、当初の想定を上回る 14 企業の協力をいただき、4 月からスタートすることができました。既に対象となる方の申込みをいただいております。今後も PR 活動、協力企業の募集を継続してまいります。また、平成 30 年度より実施して、現在までに 10 件の提案があった、「みらいのこさい調査事業は、新たに民間事業者の方からもご提案をいただく、「みらいのこさい調査事業 企業版」の実施を検討しております。湖西市の将来に向け、企業と連携した、新たな発想による事業の提案と実施を期待しています。

福祉の分野では、市内の介護事業所等における介護人材の確保・充実に図るため、研修費用の一部を助成する介護職員養成事業が、市民安全の分野では、犯罪被害者への支援を目的とした総合相談窓口の設置や見舞金の支給を行う、犯罪被害者等支援事業がスタートしました。消防の分野においては、消防団員の確保、消防活動の強化を目的とした準中型運転免許取得費用への助成も始まっています。

（継続事業）

また、安全・安心な保育環境の確保と待機児童の解消を目的として、こども園としてスタートした新居幼稚園に続いて、来年4月の開園を目指す岡崎幼稚園については、園舎の耐震改修工事を行っています。浜名湖西岸土地区画整理事業と、そのアクセス道路となる大倉戸茶屋松線につきましては、令和5年夏の一部操業開始を目指し、引き続き整備を進めていきます。また、津波避難施設空白域を解消するための高師山地区津波避難タワーの建設も、いよいよ今年からスタートします。

なお、職住近接・移住定住の促進をテーマに、今年度も継続して取り組んでいる「新婚さんこさいへおいでん新生活応援金」や「住もっかこさい定住促進奨励金」は、年々知名度も上がり、申請数も順調に増えています。今後もSNS等を活用し更なる周知、定住促進に努めてまいりたいと思います。その他、道路や上・下水道、環境センターといった市民生活に不可欠なインフラの整備は、今後も計画に沿って進めてまいりたいと考えております。

更に、2年後の令和4年（2022年）、湖西市は市制50周年を迎えることとなりますことから、各種の記念事業の検討組織として、市役所内の若手職員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げました。50周年を契機として、更に湖西市が元気になり、市民の皆様が参加・継続したいと思えるような、魅力的なイベントや取組を検討してまいります。

引き続き、将来にわたって持続可能な発展を目指し、「職住近接」をキーワードに、新型コロナウイルス対策をはじめ、各種の政策に前向きに取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方におかれましては、建設的かつ前向きなご提案やご議論を深めていただき、更なる市民生活の向上、市の持続可能な発展に繋げていきたいと思っております。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、条例の一部改正、補正予算等に関する12件でございます。

後ほど提案させていただきますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。以上で私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

（以上）